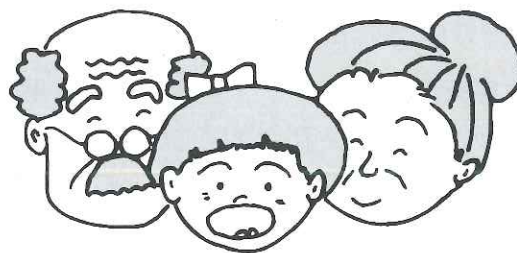


社

協

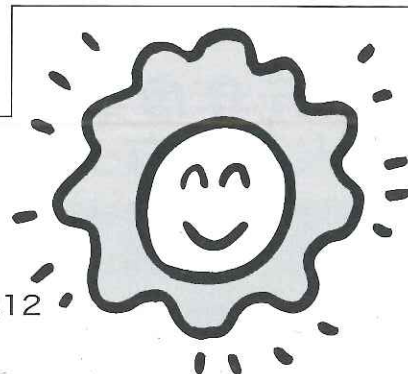
だより



福祉って？一緒に考えてみよう！



去る12月12日（木）に、学校法人一川学園清和学園高等学校生徒会にて『福祉って何？ボランティアって何？』というテーマで越生町社協職員による講話を行いました。福祉と聞くと、高齢者・障がい者を対象に行うことというイメージが強く、自分の生活には普段関わりが無いように感じますが、地域には様々な人が生活をされていて、そこに住むだれもが幸せを感じて生活していけるようにと考えると、福祉はもっと身近な存在であり、自分たちにもできることがあるということを確認する機会となりました。今後、自分たちだからこそできる福祉・ボランティアとはいったい何か…を考えるきっかけになればと生徒さん達に投げかけ、卒業や進学までの残された期間で何をしたいのか話し合っていたくこととなりました。越生町社会福祉協議会では、町内の小・中・高等学校にて福祉教育のお手伝いを行っております。これから先、ますます少子高齢化が進み福祉の必要性が高まってきます。そのような中で社会を担っていく子ども達が福祉について少しでも考えるきっかけとなることを目的に、今後も事業を行ってまいります。



発行：社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908番地12

TEL 292-2977
FAX 292-5616



この社協だよりは再生紙を使用しています。

！となり町同士、助け合いの“輪”を広げよう！

去る11月29日（金）に、毛呂山町福祉会館にて、越生地域支え合いサービス事業による、毛呂山町・越生町ボランティア交流会を開催いたしました。前半は「イツモ防災講座」と称し毛呂山町社協職員による、災害が起こった時の備えを、基本知識から便利グッズの紹介など改めて知ることが出来ました。後半は、4グループに分かれ、「災害が起こった時どうしたらいいか」を聞いた話や体験談などを交えながら、皆さん真剣に話し合っていました。何より住人同士の声掛けや助け合いが必要だという声が上がっていました。



ふれあいルームに来てみませんか？



八起会（はっきかい）の皆様からご挨拶

概ね60歳以上のみなさまが、地域の拠り所として自由にご利用できるスペース「ふれあいルーム」は黒岩259-1（越生小学校北側建物内）にあり、月曜日から金曜日の平日、午前は10：00～12：00、午後は1：00～4：00に開催中です（第5各曜日や臨時休業あり）。参加費は月額100円（お茶菓子代）と、イベント参加費100円（イベント参加の場合）のみです。

毎週水曜日午前を中心に、ボランティアさんや専任スタッフによるイベント企画がある他、お茶飲み話やゲーム、作品作りなどなど、お好みに合わせて自由に過ごせます。午前中とイベント時には送迎車もありますので、ご相談ください！はじめての方、見学だけでも大歓迎です。ぜひ、一度、お茶飲みにお立ち寄りください！お問い合わせもお気軽にどうぞ！☎049-277-2220（直通）※閉所時は社協までお電話ください。

去る、12月11日（水）にクリスマスパーティーを開催しました。「八起会」によるフラダンス、紙切り、手品などを観賞し、チーム対抗ゲームを楽しみました。その後「男子ごはん」の参加者による料理が振舞われ、きのこの混ぜご飯と蓮根とひき肉のはさみ焼きなどをいただき、最後にはクリスマスケーキを大家族のようにワイワイと食べ、大変に盛り上がりしました。



男子ごはん参加者の皆様からご挨拶

令和元年度第4回「男子ごはん」参加者募集中

60歳以上の男性を対象にした料理教室「男子ごはん事業」の第4回目を下記の日程で開催いたします。旬な食材を使い家庭でも手軽に出来る料理を、グループに分かれて楽しく調理しています。初めての方もぜひこの機会に参加してみませんか。皆様のご参加お待ちしております。

第4回 2月5日（水）

締め切り 1月27日（月）まで
※ご連絡お待ちしております。

時 間：10時～12時頃
会 場：越生町中央公民館
参加費：100円
持ち物：エプロン・三角巾・米1合



赤い羽根共同募金運動のご報告です

10月1日より開始された赤い羽根共同募金運動では、各地区役員様や事業所、学校など、多くの皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。12月10日現在の募金額は1,501,069円となりました。

この募金は、埼玉県共同募金会へ送金後、令和2年度の地域福祉事業に活用される見込みです。この募金額の約6割が社協を通じて越生町内に還元される仕組みで、町内では、地区サロンなどの高齢者の孤立防止活動や、ボランティア団体の活動費、そうした住民参加型の福祉活動の広報費に充てられる計画となっております。残りの約4割は、社会福祉施設の補修や備品の購入費、県内のボランティア活動費等となる見込みです。

令和元年台風第19号埼玉県災害義援金

令和元年台風第19号で被災された町民の方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、近隣の市町村においては、尊い人命が奪われ、家屋や店舗に大きな被害がありました。

越生町社協の窓口では、被災者の生活再建、復旧を支援するために義援金を募集しております。また、「令和元年台風第15号千葉県災害義援金」「令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金」「平成30年7月豪雨災害義援金」も募集しております。募金は埼玉県共同募金会を通じて、各被災地へ配分されます。皆様のご協力をお願いいたします。

福祉サービス利用援助事業 ご存じですか？ 通称「あんしんサポートねっと」

福祉サービスの利用手続きや日常的な金額の払い戻し・支払いなどについて、一人では不安のある高齢者や、知的・精神障害のある方を、生活支援員が定期的に訪問してお手伝いします。

利用料金は1回1時間まで1,200円～1,600円です（大切な書類を貸金庫でお預かりする場合、年間2,000円と月々500円が更にかかります）。ただし生活保護世帯の方は無料です。

お手伝いの仕方により、契約内容と利用料金が変わりますので、詳しくは社協までご相談ください。例えば、銀行に利用者自身が同行するか否か、通帳や大事な書類を預けるかどうか等が選べます。

※本人に本事業の契約内容を理解できる判断能力が必要です。判断能力の低下等で本事業の契約ができない場合、本会が行う「法人後見事業」または、他の「成年後見人」をご紹介します。



チャリティ募金にご協力いただきました！

去る11月22日、日本カントリークラブで開催された越生町行政区対抗ゴルフ大会において、チャリティ募金の受付場所を設置させていただき84,000円のご寄付をいただきました。ご協力をいただきました大会参加者並びに越生町ゴルフ連盟の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ご協力をいただきましたチャリティ募金は、越生町内の地域福祉事業に大切に活用させていただきます。



障がいを理解して、だれもが住みやすい街を目指す！

11月20日(水)にボランティア入門講座第5回目を開講いたしました。今後ボランティア活動をスタートする皆さんと一緒に、これまでボランティアについての基本的知識や町内の福祉サービスについて、高齢者や認知症について等の勉強を6月から定期的に行ってききましたが、今回は『障がいについて』というテーマで、知的障がいや精神障がいについて勉強をしました。つつい相手の出来ないことに目を向けてしまいがちですが、その方の長所に目を向けて信頼関係を気付いていく事の大切さを学ぶと同時に、誰もが住みやすい環境を目指すことはとても難しいことだけど、一人一人の正しい理解があってこそ成り立つものだと、課題を感じる機会となりました。受講者の皆さんは自分の身近な問題と結びつけながら、熱心に耳を傾けていました。



最高のパートナー 盲導犬ラスク号との生活！

越生中学校では、3年生を対象に福祉についての学習を行っていますが、社会福祉協議会でもこれまで、ボランティアについての講話や車椅子・アイマスク体験などのお手伝いをさせていただいてきました。去る12月6日(金)には、障がいをお持ちの方から実際にお話を聴き、交流をすることで、さらに福祉の理解を深める機会として、今年度は川越市にお住いの須ヶ間妙子様と盲導犬ラスク号にお越しいただきました。須ヶ間様から、ラスク号とどのような生活を送っているのか、盲導犬の仕事内容について等のお話を聴かせていただくと同時に、普段あまり目にする事の少ない盲導犬が活躍する姿を見ることができ、貴重な体験となりました。



知っていますか？お仕事中の盲導犬にしてはいけないこと

盲導犬がハーネス(体に着けている白い胴輪)を付けている時はお仕事中です

①声を掛けたり、じっと見て
目を合わせたりしない！



②食べ物を見せたり
あげたりしない！



③勝手に盲導犬を撫でたり、
ハーネスを触らない！



災害ボランティアにご登録お願いします

近年、日本各地で度々災害が発生しておりますが、今年は越生町においても台風19号により一部地域に被害がございました。その際に、多くのボランティアさんにご協力をいただきましたが、今後も災害ボランティアの調整が必要な事態となった際に、速やかに調整をすることができるよう、越生町社協では事前にボランティアとして活動が可能な方に、今後も災害ボランティアのご登録をお願いしております。ご登録をしていただければ、被災状況に応じてお電話にて活動を依頼させていただくこともございます。お一人でも多くの方のご登録お待ちしております。

